

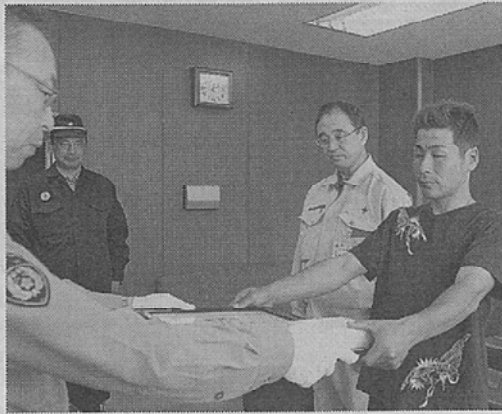
# アマ無線 人命救助に力

## 宮古署 山田の2人に感謝状

宮古署(伊藤牧男署長)は14日、東日本大震災発生時にアマチュア無線を使って人命救助に貢献した山田町船越の浦川新一朗さん(33)と佐藤勝一副町長に感謝状を贈呈した。

伊藤署長が町役場を訪れ、浦川さんと佐藤副町長に感謝状を手渡した。

震災当時、浦川さんの住む田の浜地区は津波で道路が決壊し、集落は孤立。消防団員の浦川さんは、周囲で発



伊藤牧男署長から感謝状を手渡される(右から)浦川新一朗さんと佐藤勝一副町長＝山田町

生した火災の消火活動に当たっていたが、火勢は避難所に迫っていた。

「誰か助けてほしい」。そんな思いで車の無線の電源を入れ、町内の情報提供を呼び

掛ける佐藤副町長の通信をキャッチ。3月12日午前3時35分、浦川さんは「田の浜の3カ所で火災発生」とSOSを送った。

情報を受けた佐藤副町長は自衛隊に救助を要請。100人を超える人がへりで救助された。

2人はこの日が初対面。「当時は携帯電話もつながらなかった。情報が来たときは(人命救助に結び付くと)うれしかった」と佐藤副町長。浦川さんも「とにかく地域のお年寄りを助けたい一心だった。やっとお礼が言える」と喜んだ。